

厚生労働科学研究費補助金 高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究

近畿ブロック 平成26年度事業計画

分担研究者 渡邊 学

(大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 主任部長)

1, 近畿ブロックにおける各府県及び政令指定都市の支援普及事業推進やブロック内の連携緊密化:特に主題を「高次脳機能障害者の社会参加支援」に重点をおく。

- (1) 近畿ブロック連絡携協議会の開催 (H26年12月頃開催予定)
H26年度の支援体制・実績やH27年度の事業計画を、特に「高次脳機能障害者の社会参加支援」を中心にまとめる。
- (2) ブロック内府県間での支援コーディネーターの連携・情報提供の強化をはかり、「高次脳機能障害者の社会参加支援」における、問題点等の情報の共有を図る。

具体的計画

1, 近畿の各支援コーディネーターが他の府県・政令指令都市の、医者や支援コーディネーターに相談しやすい環境作りをさらに強化する。

そのため、

- 1) 近畿ブロック各府県の持ち回りの主催で支援コーディネーターの情報交換や症例検討を主とした近畿ブロック支援コーディネーター会議を行う(H25年度は大阪府と滋賀県の主催で2回行い、26年度も各府県主催で2回行う予定)。
- 2) メーリングリストによる近畿ブロック支援コーディネーターの連携の普及に努める。

2, 高次脳機能障害者の社会参加支援についての問題点の改善

- 1) H24年度及びH25年度に行った就労支援に関するアンケート(H24年度・H25年度の報告書参照)の結果、支援機関側からみた現状や問題点が統計的にはかなり明らかになった。一方、就労を目指す高次脳機能障害者の社会参加の可否は、症例ごとで多くの要素が複合的に影響し、統計的手段のみで全体像を明らかにすることの困難性が考えられた。そこで、近畿ブロック各府県の就労支援機関や支援拠点機関等の協力を得て、個別の就労支援の参考となるような事例集を作成する。
- 2) 大阪府が試行実施している「高次脳機能障害者の自動車運転評価モデル事業」について協力することで、自動車運転を介した社会参加支援に貢献し、同時に問題点を考察する。

また、近畿ブロック各府県支援拠点機関の協力を得て、各府県の自動車運転評価の状況に関する情報を集約する。